

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

広大公式アカウント一覧

-  Twitter
-  Facebook (日本語版)
-  Facebook (英語版)
-  YouTube
-  行事カレンダー
-  ストリートビュー
-  キャンパスカメラ
-  学内ポータル



理科・生物〔I〕問6 問題文

問6 次の①～⑤から「腎臓」の機能にふさわしい記述を二つ選び、番号で答えよ。

- ① 腎動脈からの血液は、腎小体中の糸球体に入り、大半の血しょう成分がボーマンのうでろ過される。
- ② 体内で生じたアンモニアをオルニチン回路で毒性の低い尿素につくり変える。
- ③ 尿中にタンパク質が排出されないのは、腎細管（細尿管）で再吸収されるためである。
- ④ 腎細管（細尿管）での無機塩類の再吸収は、受動輸送によるものである。
- ⑤ 集合管での水の再吸収は、脳下垂体から分泌されるバソプレシンによって促進される。

正解は①と⑤であるが、このうち①について、
問題文は、「大半の血しょう成分がボーマンのうでろ過される。」
としている。

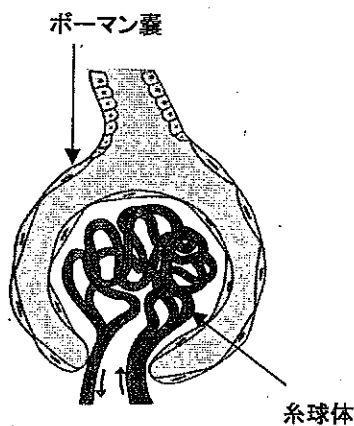
しかし、高校生物の教科書の多くは「血液が糸球体でろ過され、ボーマンのうへ出る。」
という記述になっている。

したがって、受験生の中には、短文①を不正解と捉えた者もいたおそれがある。

〈参考〉ボーマン嚢

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

ボーマン嚢(ボーマンのう)は、ネフロンにおける尿細管の起点を構成する部分である。糸球体包とも呼ばれる。ボーマン嚢は糸球体を収納した構造をしており、糸球体の血液からボーマン嚢に濾過された体液はネフロンそれぞれの過程を経て尿となる。この過程は限外濾過として知られている。



腎小体。ボーマン嚢の中に毛細血管の塊である糸球体が収納されている。